

第67回山形市中学校男子駅伝競走大会  
第37回山形市中学校女子駅伝競走大会  
開会式 教育長あいさつ

皆さん、おはようございます。山形市教育委員会教育長の金沢智也と申します、どうぞよろしくお願いいたします。

男子第67回、女子第37回を数える山形市中学校駅伝競走大会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、市内各中学校において選抜された選手と学校の先生方教職員、山形市スポーツ協会、市陸上協会等の多くの関係者の皆様の参加のもと、山形市中体連主催大会の先陣を切る本大会が、4年振りに開催できますことは、誠に喜ばしく、心よりお慶びとお祝いを申し上げます。

さて、この山形市中学校駅伝競走大会は、山形県レベルの大会はもとより、東北・全国大会で活躍している高校生や社会人の選手をこれまでに数多く輩出しており、山形市だけでなく県駅伝界や長距離界の競技力を支えてきた歴史と伝統ある大会であります。

特に昨年は、山形十中男子チームの菅野 元太（すがの げんた）さんが、全国大会において、第三区の区間新記録を樹立し、最優秀選手を受賞するなど、輝かしい成績を収めたことは、非常に大きな明るい話題となりました。

また、今年度は、今月27日から開催予定の山形県縦断駅伝大会において、

第一中3年 山川 文士（やまかわ あやと）さん、

第二中3年 安藤 新（あんどう しん）さん、

第十中3年 前田 海斗（まえだ かいと）さん

の3名が山形市駅伝チームのメンバーに選ばれ、必死になって練習に励んでいると伺っております。本番でも山形市チームの一員として、十分に力を発揮してくれることを期待しています。

さて、今日ここに集まった皆さんは、コロナ禍で思うように進まない練習、ケガや痛み、コンディション不良など、様々な困難に上手く向き合いながら、学校の代表としてここまで懸命にレースの準備をしてきたことと思います。

そして、これからその戦いが始まります。勝利したチームはもちろんですが、そうでなかったチームも、最後まで全力を尽くす姿はとても素晴らしいもの美しいものです。試合

であるからには、必ず勝敗はつきます。しかし、その結果が全てではなく、目標に向かい  
厳しい練習に臨み、仲間と競い合い、自分のベストを尽くす、それまで如何に努力できた  
か、自分と闘ってきたか、それも大切なことです。

本日の大会での激走がそれぞれの心に刻まれると共に、今後学校を越えて互いに切磋琢  
磨し、様々な場面で活躍を見せてくれることを心から願うと共に期待しております。

最後になりますが、本大会を開催するにあたり、ご尽力いただいた山形市陸上競技協会、  
市スポーツ協会、市中学校体育連盟など、関係各位に深く感謝申し上げ、激励の挨拶とい  
たします。

令和5年4月15日 山形市教育委員会教育長 金沢智也